

団体名

南アルプス市（ミナミアルプスシ）

人口 71,632人

面積 26,407km²

主な産業 製造業・卸売業・小売業・農業



(2022年12月時点)

市の概要

南アルプス市は甲府盆地の西部、南アルプスの裾野に位置し、日本のトップ3の高峰のうち、2位の北岳、3位の間ノ岳が市域にあり、1位の富士山が眺望できるという、山々の魅力をアピールするには最適な地域となっています。

古くは富士川舟運で信州へ至る要衝として栄え、現在は中部横断自動車道の南アルプスICと白根ICを有し、交通の要衝としての機能を備えています。

果樹栽培にも適している気候条件から、桃、スモモ、サクランボなどの栽培が盛んで、中でもスモモの出荷量は日本一であり、本市原産の「貴陽」は特に有名です。



今後のビジョン

本市では、将来に渡って「活力ある南アルプス市」を維持し、持続可能なまちづくりを進めるため、国の基本方針2019が示すSociety5.0の実現に向けた技術の活用やSDGsを原動力とした地方創生などの新たな視点を取り入れた

「第2期南アルプス市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しております。本市の目指すべき人口展望を示す「南アルプス市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」と合わせ、本市の最上位計画である「第2次南アルプス市総合計画」との整合性を図りながら、人口減少社会への対応に特化した各種施策を展開していきます。



また、平成26年6月に登録された南アルプスユネスコエコパークの理念である「自然と共生したまちづくり」を進めると共に、交通インフラの充実等を生かした移住定住人口の拡大、企業誘致等をも進めていきます。

地方創生事業の概要

本市では、「第2次南アルプス市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる目指すべき姿【**魅力と地域力を高め、住みたい・子育てしたくなるまち**】から以下の4つの【基本目標】と、目標を達成するための【施策】を通じ、一人ひとりの生活面での充実や利便性を追求し、本市への新たな人の流れを生み出す事業を推進しております。ぜひ、南アルプス市が進める地方創生事業を応援してください。

(地方創生事業例) 令和4年度 櫛形山アヤマメ保全対策事業

ユネスコエコパークの理念に基づき、市内全域において人と自然が調和したまちづくりを推進している南アルプス市。

中でも代表的な施策の一つとして挙げられるのが、かつて「東洋一」のアヤマメ群生地として知られた櫛形山の保全活動です。

一時、野生動物の食害で激減し、危機的な状況に陥りましたが、学識者・企業・市民らとの協働事業が実を結び、徐々にアヤマメの群落が戻りつつあります。



食害防止のための防護ネット設置

(基本目標・施策)

1 しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育てて活かす

- 地域産業の振興
- 企業誘致の推進

2 新しいひとの流れをつくる

- 観光の振興
- シティプロモーションの推進
- 移住・定住人口の拡大

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる

- 子育て支援の充実
- 多様性社会の構築

4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

- 安心な暮らしを守る環境づくり
- 自然との共生

(その他地方創生事業例)

・ 南アルプスIC新産業拠点整備事業

- (企業ガイダンス開催事業)
- (農林業政策推進事業)
- (南アルプスブランド戦略推進事業) など



・ 交流定住促進事業

- (観光プロモーション事業)
- (シティプロモーション事業)
- (結婚新生活支援事業) など



・ 地域子育て関連事業

- (ベビーベッド・チャイルドシート貸出事業)
- (支援拠点事業)
- (一時預かり事業) など



・ 防災リーダー養成講座協働事業

- (交通政策推進事業)
- (ユネスコエコパーク推進事業)
- (希少動植物環境保全事業) など



※掲載している事業は、一例となります。